



大阪府教育センター

Osaka Prefectural Education Center

要 覧



子どもとともに学び続ける教職員を支援します

沿革

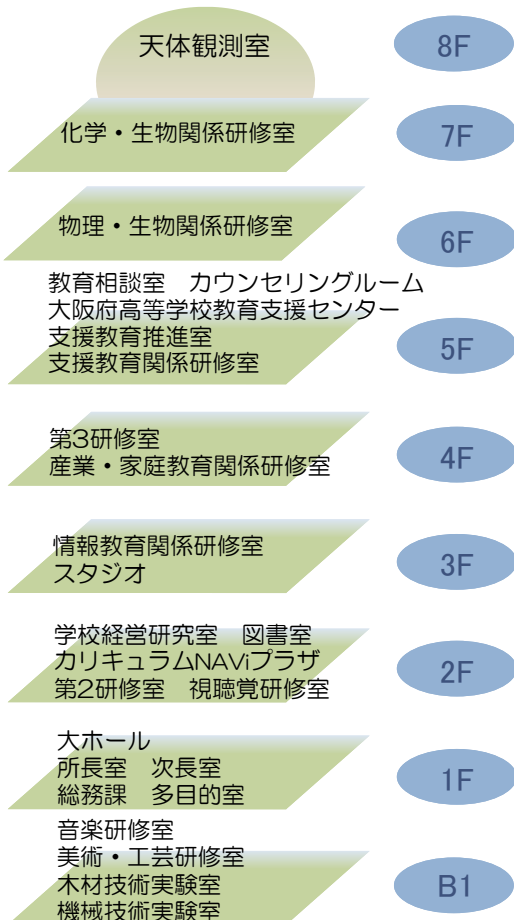
- 昭和 21年 4月 大阪府立科学教育研究所の設置
- 22年 12月 大阪府新教育研究所の設置
- 25年 4月 大阪府教育研究所の設置(大阪府立科学教育研究所及び大阪府新教育研究所は発展的に解消される。)
- 37年 4月 大阪府科学教育センターの設置
- 53年 11月 文部省から科学研究費補助金取扱規程の学術研究機関として指定
- 平成 5年 4月 大阪府教育センターの設置 「すこやか教育相談」開設
- 9年 6月 「大阪府教育情報ネットワーク」を整備
- 11年 4月 カリキュラムセンター機能の整備
- 12年 4月 教職員研修を一元化 「大阪府学校支援人材バンク」開設
- 11月 11月 「大阪府学校情報ネットワーク」を整備
- 13年 4月 教育委員会事務局教育振興室各課より28研修移管 「青年の家」廃止に伴い5研修移管
- 14年 4月 相談事業を「すこやか教育相談」に統合 子ども、保護者、教職員の専用回線及び電子メールによる相談窓口を設置
- 16年 4月 科学教育部を教科教育部に統合
- 19年 4月 カリキュラムNAViプラザを設置
- 22年 4月 教科教育部を教育課程開発部に変更
- 23年 4月 大阪府教育センター附属高等学校の設置(府立大和川高等学校を改編)
- 6月 大阪府高等学校適応指導教室を大阪府教育センター附属高等学校内に開室
- 30年 4月 大阪府幼児教育センターを設置
- 31年 4月 大阪府高等学校教育支援センター(旧 大阪府高等学校適応指導教室)を大阪府教育センター内に移設



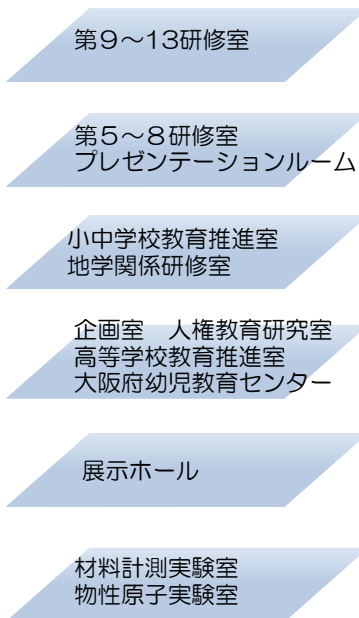
昭和37年 大阪府科学教育センター創立

施設概要

本館



別館



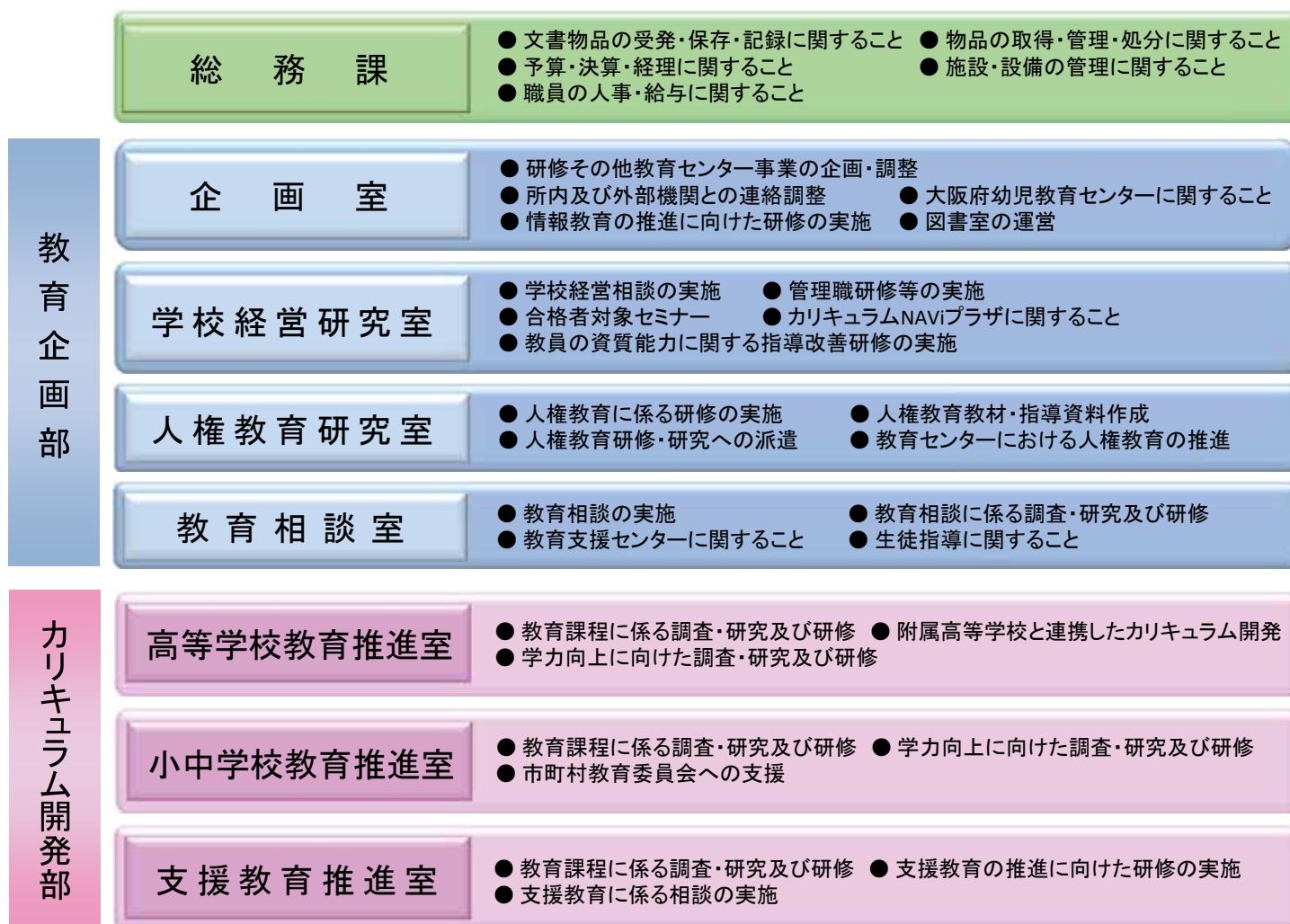
敷地		10,226.98㎡
建物	延	18,830.23㎡
構造	本館 R C造	地上 7階
		(一部8階)
		地下 1階
別館	R C造	延 14,466.72㎡
		地上 5階
		地下 1階
その他	延	4,271.61㎡
		91.90㎡



事業概要

- 1 教育関係職員の研修に関すること
- 2 教育に関する専門的又は技術的事項の調査及び研究に関すること
- 3 教育に関する資料の収集及び提供に関すること
- 4 教育相談に関すること
- 5 大阪府教育センター附属高等学校との連携及び協力に関すること
- 6 これらのほか、教育の振興を図るために必要なこと

組織体系



大阪府教育センター附属高等学校

- 教育センターと一体となり、ナビゲーションスクールとして大阪の教育を先導
- 大学や外部機関と連携し、多彩な授業プログラムを実践・開発
- 「生徒中心の教育」主体的・対話的で深い学びを授業に導入
- 教育活動の柱「探究ナビ」を通じて、実生活で課題を解決する力の育成



人材育成センター機能

《大阪府教育センターの研修全体図》

教職員としての優れた人格の形成と使命感の

- ・生涯学習社会の進展に対応し、教育的視野を拡大させる
- ・教職員としての専門的知識・技能、実践的指導力の向上
- ・特色ある教育内容を創造するためのカリキュラム開発

OSAKA教職スタンダードによるキャリアステージ / スクールリーダースタンダードによるキャリアステージ

第0期（採用前）

第1期

第2期

教職員になるための意欲・情熱、資質、基礎的な指導力を育成します

合格者
対象セミナー

大阪府公立学校教員採用選考テスト合格者対象セミナー
4月から始まる教員生活に向け、講義や協議等を通して大阪府の教員となるために必要な心構えや実践的な教育力を育むために必要な基礎知識を身に付けます

教職員としてのスタートライン

新規採用者研修
初任者研修

インターミディエイトセミナー
(2~4年次 府立学校)

アドバンスセミナー※
(5~9年次 府立学校)

2年次
研修
(小中学校)

5年次
研修※
(小中学校)

授業力向上研修 (授業づくり全般、国語、社会)

職に応じた研修

課題別研修

小・中学校
事務職員研修

スキルアップ研修

新任副主査研修

幼児教育アドバイザー育成研修 / 小・中

一括・個別募集研修

学校力を高めるための人材育成

府立学校研修支援

府教育センターの指導主事が、学校の校内研修を支援します

- 高等学校パッケージ研修支援
- 支援学校パッケージ研修支援

授業力向上のためのPDCAサイクルを構築し、学校の教育力を高める

- ◆ 学校の課題やニーズに応じて、校内研修を支援します
- ◆ 授業評価など、授業改善のための校内研修体制づくりを支援します
- ◆ 教職経験の少ない教員に対する授業力向上を支援します

涵養を図ります
研修の充実
向上を図る研修の充実
能力の育成を図る研修の充実

子どもたち一人ひとりを大切にした教育の充実を図ります
教職員が人権及び人権課題に対する深い理解と認識をもつとともに、豊かな人権意識・
人権感覚をもってあらゆる教育活動に取り組むことができるよう、「人権教育基本方針」
「人権教育推進プラン」に基づいた研修を実施します

ージ



これらのキャリアステージで学びを深め、そして子どもたちのために

計画的な研修受講

10年経験者研修※

※「中堅教諭等資質向上研修」に相当する研修

算数・数学、理科、保健体育、芸術、外国語、技術、家庭、情報、農業、工業、道徳)

(養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員、小・中学校事務職員、実習教員等、幼稚園等教員)

(人権教育、支援教育、教育相談・生徒指導、ICT活用等)

新任主査研修

主査研修

新任主幹研修

主幹研修

学校リーディングティーチャー養成研修／府立学校リーダー養成研修

新任指導教諭等研修(小中・府立) 指導教諭等研修(府立)

新任首席研修(小中・府立) 首席研修(府立)

教頭研修

校長・園長研修

市町村指導主事学習会

市町村教育委員会支援・学校支援

市町村研修支援

市町村研修支援プロジェクト

専門性・緊急性の高いテーマの市町村研修を支援します

- ⊕ 人権教育、支援教育、授業づくり、新しい教育課題等

校内研究支援プロジェクト

校内研究の核となる人材育成を支援します

- ⊕ 小中学校課事業による指定校等を支援します
- ⊕ 校内研究に活用できるツールを提供します

高めます

カリキュラムセンター機能

各学校が創意工夫を生かした特色ある教育課程を編成することができるよう、カリキュラムに関する調査・研究を実施し、教育課程の編成等に関する助言・支援を行っています。また、カリキュラムNAViプラザを運営するとともに、図書室や大阪府教育センターのWebページを通して、学校に役立つ情報や研究成果、学校の教育成果の発信を行っています。

文部科学省・国立教育政策研究所
大阪府教育庁・大学・研究機関



大阪府教育センター

カリキュラムに関する調査・研究

- 1 府内の幼稚園、保育所、認定こども園等、小学校、中学校、高等学校、支援学校や教育行政のニーズに応え、教育センターが実施する研修の内容を充実することを目的として、社会の変化や学問の進歩に対応した調査・研究を**企画立案**します
- 2 府教育センター全体の研究体制のもと、府教育庁や国の諸機関あるいは府内の教育センターや市町村教育委員会、学校と連携して先進的で実践的な**調査・研究**を進めます
- 3 調査・研究の成果を府内の学校教育や府の教育行政に**還元・発信**します

● 教育課程に関する調査・研究

学習指導要領に基づく教育課程のあり方について、小学校、中学校、高等学校、支援学校の校種ごとに実施します

● 教科教育に関する調査・研究

教材、指導法・学習法、校内研究のあり方など、特定の課題を設定して、年度ごとにいくつかのプロジェクトとして実施します

調査・研究により収集した情報や研究成果を様々な方法で府内に発信しています

学習指導要領の周知

- ◆ 研究協議会の開催
- ◆ 研修の実施

カリキュラム相談

- ◆ 電話・E-mail・面談
- ◆ 研修支援の場において

情報提供

- ◆ 図書室
- ◆ カリキュラムNAViプラザ
- ◆ Webページ



市町村教育委員会・学校
教育センター・教育研究所

カリキュラムNAViプラザ

Network Assistance Vision Intelligence

学校づくり・授業づくりを支援します

つなぐ

人をつなぐ、情報をつなぐ総合窓口
カリキュラムに関する相談

深める

学びを深めるための研究・研修支援

広げる

学校づくり、授業づくりに関する情報収集・発信



(大阪府教育センター本館2F)

カリキュラムNAViプラザ利用時間 月～金曜 9:00～17:30

教育相談

支援教育相談

障がいのある子どもの教育にかかわって、児童生徒、保護者及び教職員からの相談を受け付けています。

すこやか教育相談

児童生徒、保護者及び教職員からの電話、FAX、面接及びEメールによる相談に応じて、相談者が自ら問題の解決に向かうことができるよう支援を行っています。



❖ 電話・Eメール相談

- 「すこやかホットライン」 (子ども専用) 電話 06-6607-7361 E-mail sukoyaka@edu.osaka-c.ed.jp
- 「さわやかホットライン」 (保護者専用) 電話 06-6607-7362 E-mail sawayaka@edu.osaka-c.ed.jp
- 「しなやかホットライン」 (教職員専用) 電話 06-6607-7363 E-mail sinayaka@edu.osaka-c.ed.jp
- 「学びふたたびホットライン」(高校中退に関する相談) 電話 06-6607-7353

※ 相談時間 月曜日から金曜日まで 午前9時30分～午後5時30分 (祝日、年末年始は休みです)

※ Eメール相談、FAX相談 (FAX 06-6607-9826) 受付は24時間

- 24時間対応「すこやか教育相談24」 電話 0120-0-78310 (IP電話からはつながりません)

❖ 面接相談 精神科医・臨床心理士などの専門家による悩みの相談

❖ Webページ 「すこやか教育相談」 <https://www.osaka-c.ed.jp/matters/consultation/sukoyaka/>

❖ 電話相談 すこやかダイヤル推進週間 (年4期: 5月、9月、11月、2月)
精神科医・臨床心理士・教員経験者などの連携による悩みの相談

大阪府高等学校教育支援センター (愛称: Le pont^{ルポン})

大阪府教育センター(5F)に設置しています。心理的または情緒的な原因などによって、登校の意志があるにもかかわらず登校できない状態にある高校生を対象に、学校復帰を支援し、社会的自立をめざして学習支援や心理支援等を行います。

❖ 活動内容

学校・保護者と連携しながら、生徒一人ひとりの状況に合わせて支援を行います。

■ 学習支援

在籍校の教材を中心に、自主的に学習に取り組みます。また、ICTを活用した学習や教育センターによる学習支援、補助教材等も活用しながら、一人ひとりの学習をサポートします。

■ 心理支援

個別や小集団での活動を行いながら、自己肯定感やコミュニケーション力などの向上を図ります。また、個別面談やカウンセリングにより、不安や悩みの解消を図ります。

❖ Webページ 「大阪府高等学校教育支援センター」
<https://www.osaka-c.ed.jp/matters/consultation/lepont/>



大阪府幼児教育センター

大阪府の幼児教育の拠点として、大阪府幼児教育推進指針を踏まえ、幼児教育の主たる担い手である市町村や設置者の理解と協力を得ながら、幼児教育に携わる教職員の資質・能力の向上や、幼児教育と小学校教育の円滑な接続など、幼児教育の充実を図ります。



Webページ 「大阪府幼児教育センター」 <https://www.osaka-c.ed.jp/oyk-c/>
 ※大阪府教育庁（小中学校課、私学課）、福祉部（子育て支援課）と連携します。

教職員研修

■ 幼稚園、保育所、認定こども園等の教職員対象の研修の実施

園長、所長、幼稚園教諭、保育士、保育教諭、幼児教育アドバイザー等を対象とした研修や支援を実施し、幼児教育に携わる教職員の資質・能力の向上を図る。

調査研究

■ 幼児教育に関する調査研究の実施

幼児教育と小学校教育の円滑な接続などに関わる課題について調査研究し、その成果を情報提供し、幼稚園、保育所、認定こども園等、小学校のつながりの推進を図る（リーフレットの作成配付等）。

情報提供

■ 幼児教育に関する情報提供の実施

幼児教育に関する今日的な課題等、各種情報を、Webページ等を通して、広く発信するとともに、幼稚園、保育所、認定こども園等、小学校の教職員同士のネットワークづくりを支援する。

大阪府教育センターWebサイト

<https://www.osaka-c.ed.jp>



役に立つ教育関連情報が満載！

- ・ 府教育センター研修の実施要項・シラバス
- ・ 教材コンテンツ、教材ソフト、教育用画像素材集
- ・ 府教育センターブログ
- ・ 研修テキスト
- ・ 教材リンク集
- ・ これまで発行した資料や研究刊行物
- ・ 国、府の学力・学習状況調査資料 等
- ・ 小学生、中学生、高校生のためのページ 等々



アクセス



〒558-0011 大阪市住吉区苅田4丁目13番23号

Tel 代表 06 (6692) 1882 Fax 06 (6692) 1898

《交通機関》

- ・ Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車 ①番出口 東北東へ約900m
- ・ JR阪和線 「我孫子町」駅下車 東へ約1,400m
- ・ 近鉄南大阪線 「矢田」駅下車 西南西へ約1,700m

